

種なし、

新品種

	品種名	色	糖度
ブドウ	シャインマスカット	黄緑色	19
	ナガノパール	紫黒色	18
	瀬戸ジャイアンツ	黄緑色	16、17
	オーロラブラック	紫黒色	17、18
	オリエンタルスター	紫赤色	19
	サニードルチェ	赤色	17
	栗	ぼろたん	赤褐色
リンゴ	ファーストレディ	濃赤色	13、14
	シナノピッコロ	鮮赤色	14



「シャインマスカット」④と、長野県育成の「シナノピッコロ」



食では、環境への配慮から果皮や野菜の芯など非食部の廃棄が課題となっている。「果実の皮ごと、種なしは、ごみを減らす意味でも食材選びで重要視している」(まつの)との声もある。

首都圏に売り込み

おきなわ牛
お和
JAと卸
展示即売会
初の生体出荷

沖縄県産の和牛肉を首都圏の消費地に売り込もうと、沖縄県、おきなわ食肉卸のミートコンパニオン(東京都立川市)は23日、埼玉県和光市の食肉処理施設で「第4回おきなわ和牛展示即売会」を開いた。2008年に地域団体商標を取得した「石垣牛」6頭を含む48頭の「おきなわ和牛」が出荷され、即売会で、すぐに完売した。

ミート社と取引のある食肉の仲卸業者など27

首都圏に初めて生体で出荷された「石垣牛」の枝肉。即売会はずっと完売した(23日、埼玉県和光市で)



政府が行政刷新会議に設置した規制・制度改革分科会(会長＝平野達男内閣府副大臣)は今週から、3つのワーキンググループ(WG)を開き、具体的な検討テーマの議論を始める。農林・地域活性化WGでは「農林業の成長産業化に向けた制度整備」「優良農地の確保促進」など6項目を検討の視点として掲げ、テーマを決めていく。年度内に結論となる対処方針を閣議決定する。

農林WGの検討の視点ではほかに、農林業支援組織等の見直し、地域資源の活用促進、地域発展を促す制度見直し、外国人向け観光基盤整備を示している。6つの視点はそれぞれ「あくまで視点を分かりやすくするため」(行政刷新会議事務局)として、検討テーマ例を提示。認定農業者制度の見直しや農地流動化の促進を挙げた。

各WGでは12月までに検討項目を決める。検討項目は、WG委員や政務三役、事務局、国民の声などから決める。

今年6月までの第1期で検討項目に挙がりながら、議論を先送りした「中期的検討項目」も第2期で検討項目となる可能性がある。中期的検討項目には、農協からの信用・共済事業の分離なども含まれる。1月までにWGとしての結論を出す

今週、規制改革分科会WG 農地確保などテーマ

販売した。展示会では増体や肉質に優れた枝肉について、最高位の最優秀賞のほか、8点の褒章を決めた。最優秀賞は30カ月肥育したA5等級去勢の「おきなわ和牛」で、1頭29000円の価格が付いた。

「石垣牛」を生きたまま本州に運び、と畜、出荷したのは初めて。子牛から肥育まで一貫経営し、餌をJAの部会で統一している。

JAおきなわの長濱哲夫常務は「地元での販売はこれ以上伸びないというところまで開拓できた。首都圏での販売を強化し、おきなわ和牛、石垣牛の知名度をさらに上げたい」と意気込む。

環境 海 リフ 込み、 緩和で 国が多 通貨政 小評価 増やす 進国は 焦点 会議 開催さ 11月11 今回 総動員 一致し 不均 国・地 を自制 どのよ